

後期研修プログラム

① 産婦人科（マタニティーセンター）

分娩の取り扱いのみならず、悪性腫瘍も積極的に取り扱っています。

・産科：正常妊娠のみならず、他科との協力のもと合併症妊娠もできうる限り受け入れています。

産科手術においては、子宮内容除去術・帝王切開術・子宮頸管縫縮術・吸引分娩・鉗子分娩をおこなっています。特に鉗子分娩の研修も可能です。

・婦人科：良性腫瘍だけでなく、悪性腫瘍も積極的に手術、化学療法をしています。

・不妊症：当院では、子宮鏡、AIH まで行っていますが、体外受精はしていません。体外受精の研修希望の場合は、大学等にお願いします。

・不育症：大学との協力のもと、積極的に行っています。

海老名総合病院マタニティーセンターのホームページをご覧ください。

臨床症例が豊富で、必ずや研修して後悔はしないと思います。

是非いらして下さい。

② 研修指導体制

常勤 6 名（うち 5 名産婦人科専門医）

非常勤 6 名（うち 6 名産婦人科専門医）

麻酔科、新生児科へのローテート可能です。

③ 研修プログラムの概要

ア) 行動目標

産婦人科専門医の取得に必要な幅広い知識の習得と臨床経験を積むことが、後期研修医の目標です。

チーム医療の実践。医の倫理に基づく態度および診療。リスクマネジメントのみにつけ、安全な医療の提供。などが行動目標である。

イ) 経験目標

研鑽をつみ、十分な技術・技量習得をする。

1 人で独立して、make decision し、日々の診療ができる。

ウ) 到達目標

後期臨床研修期間 3 年間の研修をもとに、学会認定医・専門医をめざす。

④ 臨床研究・学会活動

産婦人科中心に各学会に参加および発表していただき、論文作成を積極的に

して頂きたい。

⑤ 認定医資格

日本産婦人科学会の卒後研修施設になっています。3年間の後期研修を受けた後には、産婦人科の専門医を申請し、受験できます。

⑥ 評価

3年間の後期研修終了後、日本産婦人科学会主催の専門医試験を受験し、その合格をもって、最終評価がなされます。

⑦ 週間予定

後期研修初期は、基礎的な診療技術等を習得するために、上級医について外来・病棟・手術・分娩・当直などを行います。研修医扱いはしません。

研鑽をつみ、十分な技術・技量習得後は1人で独立して、日々の診療にあたって頂きます。

毎日 朝8時30分の申し送りおよびショートカンファレンス。

担当患者の病棟回診。

週1回 症例カンファレンス

小児科合同カンファレンス

月1回 病棟カンファレンス

⑧ 研修プログラム後の進路について

3年間の後期研修医終了後、引き続き当院にて勤務可能です。

医学博士や大学院希望の場合は、日本医科大学での取得・進学が可能です。

その他、他の研修等希望の場合は、相談に応じます。

⑨ 連絡先（担当医師名）

指導責任者：磯崎 太一 （マタニティーセンター長）